

事業所名

児童発達支援事業所さきり  
(重心多機能 放課後等デイサービス)

支援プログラム

作成日

令和6 年

12 月

18 日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 尊厳：最も弱い立場である重症心身障害児者の尊厳を第一に考え、その命と健康を最後まで守り抜きます。選択と意思決定を大切にすることで生きている誇りを実現するために努力します。</li> <li>❖ 共生：援助する、されるの関係を越えて対等な関係を重んじ共に助け合い成長していくことを信じ努力します。家族と気持ちを同じくして障害児者とその家族を守ります。</li> <li>❖ 創造：重症心身障害児者の療育を深めるために研究・研鑽します。新しい福祉文化を地域に発信し全ての人が住みよい安全で安心な地域づくりに貢献します</li> </ul>						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>❖ 安全と安心感、暖かみあふれる事業所を目指し、一人ひとりを大切に丁寧な療育を行います。</li> <li>❖ 将来を見据え円滑な社会生活が営めるよう、自尊感情を大切に自己効力感を育み生きる力に繋がる支援を行います。</li> <li>❖ 本児の意思決定への配慮、家族やきょうだいの思い、暮らしに寄り添う支援を行います。</li> </ul>						
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	なし	
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案で計画した活動</li> <li>・検温、酸素飽和度、保護者の聞き取りから健康状態を把握し、体調の変化に応じて適切なケアを行う</li> <li>・手洗い、排泄、衣類の着脱、口腔ケア</li> <li>・口腔機能や感覚に配慮し一人ひとりに応じた食事の提供と介助を行い、医療的ケア児には栄養剤やミキサー食などできる限り家庭と同じ形態や注入時間を配慮する。</li> <li>・医療的ケアおよび適切な環境調整</li> </ul>						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案で計画した活動</li> <li>・理学療法士：腹臥位、ROMex、リラクゼーション、呼吸リハ、姿勢</li> <li>・ウォーカー歩行介助、四肢の装具や体幹装具、補聴器の装着</li> <li>・マッサージや体操、感触遊び、水遊び、音楽遊び、仕掛け絵本、スヌーズレン、プレイバルーン、トランポリン、散歩(草花の匂い・風音・風感触・季節感)、箱ゼンガー など</li> <li>様々な活動やADLから動作の習得や関節拘縮予防、筋力の維持強化を図り、視覚、聴覚、触覚、嗅覚に働きかける支援、粗大運動や微細運動を織り交ぜながら成長発達につなげる</li> </ul>						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案で計画した活動</li> <li>・一日の流れや季節の変化を理解できるような活動(名前呼び、リーダー、日付、天気、音楽、室内装飾、散歩、手遊び、絵本など 集団・個別)</li> <li>・物の名称、色、形、重さなど見て触って感じられる遊びを取り入れ、また手の巧緻性を促す遊びを取り入れる</li> <li>・食事は見て嗅いで美味しく食べる、楽しい体験を通して意欲につなげる</li> </ul>						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案で計画した活動</li> <li>・指先や目線など小さなサインも見逃さず、子どもが伝わったという気持ちを繰り返し体験することで、人と関わる楽しさや喜びを育む</li> <li>・日々の活動や日常の介助を通して、自分の思いや気持ちを表出(表情、発声、発語、スキンシップ、ジェスチャー、カードなど)、他児との関わりも意識する支援</li> </ul>						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・月案で計画した活動</li> <li>・身近な職員との関係性を基盤に成功したことを共有しながら、職員を介して連合遊びを行う</li> <li>・集団の中で他者と同じ体験を共有し一体感を感じる</li> <li>・異年齢児や、利用者以外の子どもや大人(実習生、ボランティア)との関わりから他者の存在を知り、触れ合うことから社会性を育む。</li> </ul>						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・登園、帰園時の保護者との会話で情報共有を図り、また家庭状況の把握</li> <li>・関係者、関係機関との連携から支援体制をきずく</li> <li>・相談支援専門員との定期的な支援会議や、支援計画の調整、提示</li> </ul>			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中高へのステップ、および卒業後の将来に向けライフステージの切り替えを見据えた支援</li> <li>・事業所での支援の経過や発達状況等、移行先との情報共有</li> </ul>	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校担当者と支援に係る情報共有や共通理解を図る</li> <li>・行政、医療機関、保健所、学校などの関係機関と連携</li> <li>・名護市事業所連絡会、医療的ケア児連絡会などへの参加</li> </ul>			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> <li>院内職員研修年2回</li> <li>AED・不審者・通報・感染に関する事業所内研修</li> <li>e-ラーニングを活用したオンデマンド研修</li> <li>随時外部研修に参加</li> </ul>	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・春夏秋冬を感じることができるよう季節を取り入れた活動、制作活動や壁面づくりを行います。</li> <li>・お誕生日や学校での出来事などワクワクできるエピソードがある場合には、誰でも主役になれる場面をいつでも設定し活動に盛り込みます。</li> <li>・法人の行事があれば参加します。</li> </ul>						